

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成18年5月28日

化学物質等のコード :2605-0356

化学物質等の名称 :ピロリン酸亜鉛三水和物

2.危険有害性の要約

分類の名称;急性毒性物質

危険性;-----

有害性;吸入又は飲み込んだ場合有害で、悪心、嘔吐、下痢、発熱、疲労感、関節痛、白血球増大等の症状を起こすことがある。眼、皮膚、粘膜に刺激作用があり、炎症又は潰瘍を起こす恐れがある。

環境影響;-----

3.組成、成分情報

化学名 ピロリン酸亜鉛三水和物

含有量 96.0 %

化学式・分子量 $Zn_2P_2O_7 \cdot 3H_2O = 358.77$

化審法公示番号 1-526

CAS No. -----

4.応急処置

目に入った場合;直ちに多量の水で15分以上洗い流す。異常があれば医師の手当を受ける。
皮膚に付いた場合;多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。
吸入した場合;新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、直ちに医師の手当を受ける。
誤飲した場合;水でよく口をすすぐ。意識があれば水またはミルクを飲ませて吐かせる。
直ちに医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法;本品は不燃性である。火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
風上から作業を行い、必ず保護具を着用する。

消火剤;-----

6.漏出時の措置

飛散したものはできるだけ空容器に回収する。そのあとを多量の水を用いて洗い流す。必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。
この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- ・吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・取扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密封する。
- ・漏れ、飛散しないようにし、粉塵を発生させない。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- ・強熱すると有害な酸化亜鉛の煙霧を発生するので注意する。

保管

- ・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
- ・その他 毒物及び劇物取締法に定めるところに従う。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度作業環境評価基準; -----

許容濃度 日本産業衛生学会勧告値; -----

ACGIH (TLV); -----

OSHA (PEL); -----

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
- ・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

保護眼鏡, 保護手袋, 保護長靴, 保護衣, 防塵マスク(火災時: 空気呼吸器)

9. 物理的及び化学的性質

外観 白色～ほとんど白色、結晶性粉末
臭気 データなし
蒸気圧 データなし
沸点 データなし
比重 データなし
融点 データなし
溶解度 酸、アルカリに可溶。水、エタノール、アセトン、酢酸にほとんど不溶。
ピロリン酸ナトリウム溶液には複塩をつくって溶ける。

10. 安定性及び反応性

引火点 データなし
爆発範囲 データなし
発火点 データなし
安定性・反応性 安定

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 データなし
刺激性 データなし
変異原性 データなし
がん原性 データなし
慢性毒性 データなし

12. 環境影響情報

魚毒性 データなし
分配係数 データなし

13. 廃棄上の注意

固化隔離法

セメントを用いて固化し、埋立処分する。
その他・劇物の付着した使用済みの紙袋等を焼却すると酸化亜鉛の煙霧を発生するので、洗浄装置のない焼却炉で焼却しない。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制

陸上輸送 : データなし
海上輸送 : データなし
航空輸送 : データなし
国連分類番号 : データなし
国連番号 : データなし

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 劇物 包装等級3
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(P.R.T.R法) 別表第1 No.1-1

16. その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。